

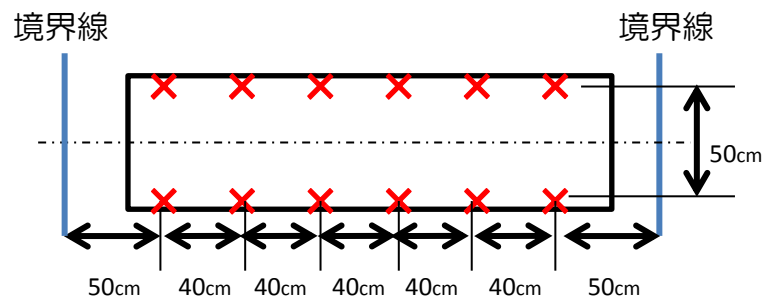
体験農園(小牧園)講習会 平成30年度 トマト/きゅうり支柱立て

【トマト/きゅうりの支柱立て作業】

当体験農園では、合掌(がっしょう)式支柱を採用しています。

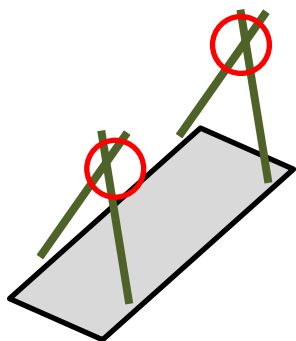
①支柱(13本)と紐(ビニール紐)を用意する。

②支柱を立てる箇所に印をつける
※マルチ引きに使用した間縄を使うと
きれいに立てられます。

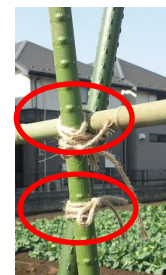
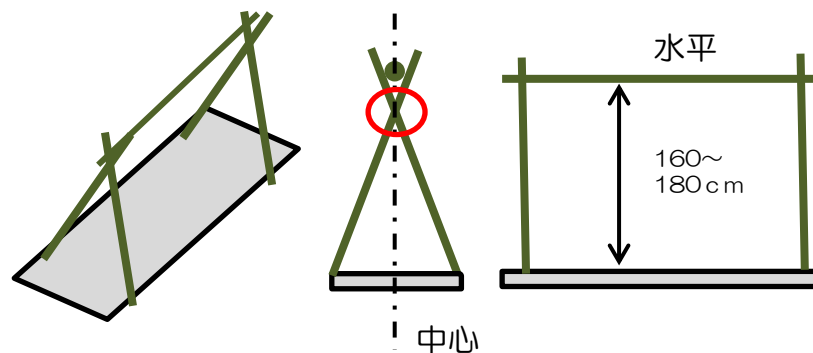


※本来の植付は50cm間隔ですが、トマト類の植付本数を増やすため、40cm間隔としています。

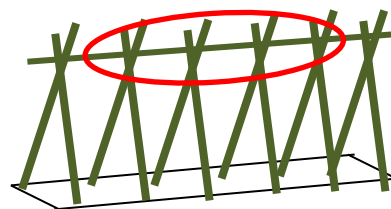
③両端の支柱を下図のように交差させて立て、紐で仮止めする。



④上方に支柱をのせ、マルチ中心位置、水平位置になるよう調整し、仮止めした紐を本締めする。
高さは各自結びやすい高さで結構です。



⑤残りの支柱を上方の支柱に合わせて、下図のように立てる。→支柱は絶対曲げないでください
立て終わったのち、3本の支柱をまとめて紐でしばる。



⑥手で支柱をゆらし、安定していることを確認する。

※写真は麻紐ですが、ビニール紐を使ってください。